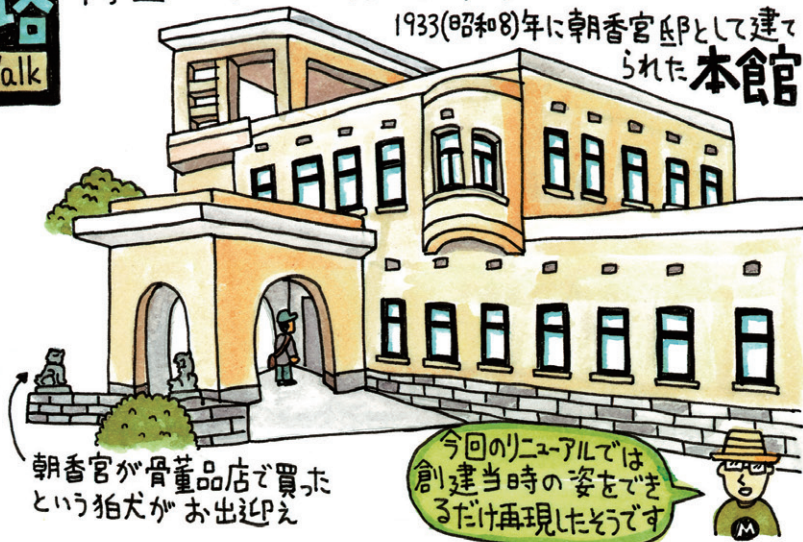


東京都庭園美術館

約3年にわたる大改修を経て、昨年11月に待望のリニューアルオープン

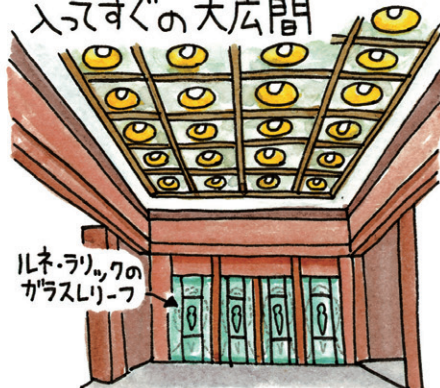
1933(昭和8)年に朝香宮邸として建てられた**本館**



朝香宮が骨董品店で買ったという狛犬がお出迎え

今回のリニューアルでは創建当時の姿をできるだけ再現しようです

アール・デコ様式の建物としても 見どころ満載です
入ってすぐの大広間



ルネ・ラリックのガラスレリーフ

パブリックスペースは主にフランス人装飾美術家アンリ・ラパンによる設計

こちらは宮内省^{たくまりょう}内匠寮設計の3種類の大大理石を使った階段

黒に金色が入った大理石はイタリア産のポルトロ とても高価らしい...

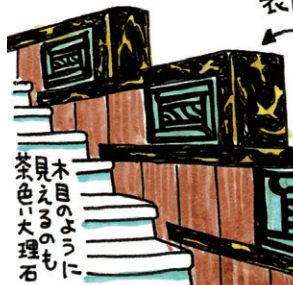
ソフトクリームのような白石^{しらいし}の香氷土塔もきれいに修復されました



現在は美術館なので水は使えませんが、なかで見るといいですね

室内用の噴水を施して香りを楽しんだそうです。ゼイタク?

改修した本館は歴史的建造物ならではの繊細な魅力にあふれています。新たにギャラリーを設けた新館にはカフェやショップも併設されさらに魅力が増しました。
絵・文／溝口イタル



木目のように見える大理石茶色大理石

各部屋の照明からラジエーター(暖房装置)のカバーまであらゆるところに装飾が!!



天井の装飾とも調和のとれた姫宮居間の照明



シックな館内でひとときを立ち止まっていた踊り場の照明



大食堂のラジエーターカバー。魚もどきが幾何学的



外壁の通気口

朝香宮ご一家が普段食事をしていた小食堂



他の部屋と比べると和風でシンプルなのが最もくつろげる部屋だったのかも



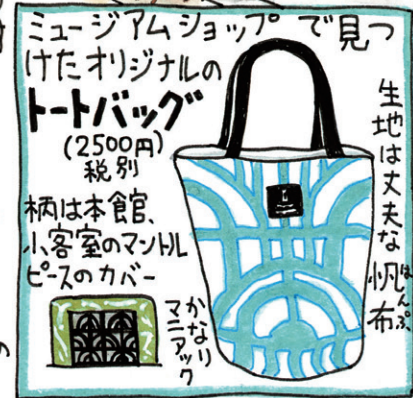
本館のリニューアルと同時に**新館**もオープンしました
近代的な広い展示空間にカフェとミュージアムショップが併設されています

庭園をながめられるガラス張りのカフェ(※庭は現在改修工事中)大きな松ぼっくりが落ちてました



こんなものを見つけました 東本館での防空壕の入口の跡

波板ガラスに射込んだ陽が廊下に模様をつくり
陽が射す角度によって、ハートの形だったり虫蝶の形だったり



ミュージアムショップで見つけたオリジナルのトートバッグ(2500円) 税別
柄は本館、小客室のマントルピースのカバー
生地は丈夫な帆布
マカナリク